

## 専門科目試験問題

次の問題Ⅰ、問題Ⅱをそれぞれの指示にしたがって解答すること。

解答には必ず所定の解答用紙を用いること

## 専門科目試験問題

### 問題 I.

受験票に記載した予定履修分野に関する問題から 1問を選んで、所定の解答用紙に 日本語もしくは英語 で解答しなさい。

#### 履修分野 I

1. ある時代を経験した人々の証言や記憶が歴史叙述において持つ意味について、具体例をあげて論じなさい。
2. アニメや漫画などの娯楽文化を研究の対象とすることには、どのような学術的意義があるか。具体的な作品をあげながら論じなさい。
3. 現在 YouTube などでは、膨大な数の過去の映画や音楽のアーカイブが構築されている。こうしたアーカイブは新たな映画や音楽の創作、あるいは音楽演奏にどのような影響を与えるか。具体例をあげて論じなさい。
4. 文学作品に神聖不可侵な「オリジナル」は存在せず、「オリジナル」であるとされるいかなる作品も、その作品以前に存在した何らかの文章や情報源に、ある程度は依拠するものであるとして、「オリジナリティ」という概念そのものを疑問視する考え方がある (André Lefevere, "Mother Courage's Cucumbers: Text, System and Refraction in a Theory of Literature," in Lawrence Venuti (ed.) *The Translation Studies Reader*, Third Edition, London: Routledge, 1982/2012)。この考え方について、賛成か反対か、そのどちらでもないか、あなたの立場を明確にしたうえで意見を述べなさい。

#### 履修分野 II

5. 移民の出身国・地域やその社会で身につけた言語 (いわゆる「母語」) によっては、移動時の年齢が高ければ高いほど移動した先での教育において言語にまつわる困難に出会うことが多い。移民の子どもに何らかのサポートが必要であると考えられるが、教育における機会や結果の平等の観点から、先行研究に言及しながら移民の言語教育について論じなさい。
6. 街中の多言語表示をデータとして社会言語学の視点から論ずるとき、明らかにすべき問題点としてどのような点があげられるか。言語による差別や情報保障の観点から、先行研究に言及しながら具体例をあげつつその問題点について論じなさい。
7. 第二言語語用論の分野では現在、比較文化語用論 (cross-cultural pragmatics) の視点ではなく、異文化間語用論 (intercultural pragmatics) の視点に基づく研究が増加しているが、これはどのような理由によるものか、説明しなさい。
8. テクストの読解で推論を働かせることは重要である。読解において生成される推論をテキストジャンルと関連付けながら具体的に説明しなさい。

履修分野 III

9. 英語の否定文には(1)のように not や never を用いたものがあるが、(2)と(3)に見られるように、この2つの要素の振る舞いには違いがある (\*はその文が容認されないことを示す)。このような言語事実を説明するための分析を考えて述べなさい。その際、他の具体例を出して論じて構わない。

- (1) a. I have never seen such a beautiful scenery.  
b. I have not seen such a beautiful scenery.
- (2) a. Never have I seen such a beautiful scenery.  
b. \*Not have I seen such a beautiful scenery.
- (3) a. \*I sometimes have to feed the lion, but I would rather never.  
b. I sometimes have to feed the lion, but I would rather not.

10. ある標本を採取した時に、ある変数の(算術)平均値が10、中央値が0、最頻値が0という結果となった。この事例に言及しながら、(算術)平均値が、とりわけ中央値と比べてどのような特徴を持つか、説明しなさい。

11. 次の(1)の各文は、一見したところ似た構造をもつように見えるが、同じ意味関係をもつとは分析できない。必要に応じてグループに分け、それぞれどのような共通点や相違点が見られるかについて、言語学的に詳しく説明しなさい。

- (1) a. John gave her a present.  
b. COVID-19 denies us all intimacy and direct exchange.  
c. But me no buts.  
d. John will make her a good husband.

12. 次の(1)(2)の各例の容認性の違い (\*は容認されないことを示す)に基づいて、「語彙的使役(立てる・着せる)」と「迂言的使役(立たせる・着させる)」の違いを言語学的に詳しく説明しなさい。

- (1) a. 書棚に本を {立てた / \*立たせた}。  
b. 看護師が寝ている病人を {\*立てた / 立たせた}。  
c. 事故の際に相手ともめたので、弁護士を {立てて / \*立たせて} 交渉した。
- (2) a. 人形に服を {着せた / \*着させた}。  
b. 子どもに服を {着せた / 着させた}。  
c. 同僚に濡れ衣を {着せた / \*着させた}。

問題 II.

受験票に記載した予定履修分野とは関係なく、以下の7つの問題から2問を選んで、所定の解答用紙に日本語で解答しなさい。

1. 反ユートピアを意味するディストピアを描いた文学や映画、舞台芸術の作品を例にあげ、ディストピアの表象を分析しなさい。

2. 文学作品のテキストと、その作品の作者個人の伝記的事実や思想との関係について考察する時、注意しなくてはならない点として何が考えられるか。具体例をあげつつ論じなさい。
3. 「私は学生です」は英語では I am a student.、朝鮮語（韓国語）でも저는 학생입니다.となり、同様に「学生」の性を明示しない。一方で、ドイツ語では Ich bin {Studentin / Student}.、フランス語では Je suis {étudiante / étudiant}.と、女性・男性を区別しなければならず、ジェンダーの表明を強制するおそれがある。これはさまざまなコミュニケーションの場面で想定される。このような点を踏まえ、先行研究に言及しながら言語とジェンダーの関係について論じなさい。
4. コロナ禍の現在、オンライン留学という取組みが増加している。このオンライン留学のメリットとデメリットを、第二言語習得論の視点から論じなさい。
5. 日本語の漢字「十」のあとに漢字1字の形態素が来る場合、「十日」のように訓読みになる場合を除くと、「十」の部分は(1)のように「じゅう」となる場合と(2)のように「じっ」（または「じゅっ」）となる場合がある。この分布はどのように説明できるだろうか。分析案を考えて提示しなさい。

(1) 「じゅう」

十台、十人、十羽、十両、十円、十倍、十行、十列、十時、十問、十夜

(2) 「じっ」（または「じゅっ」）

十本、十歳、十回、十対、十羽、十匹、十足、十体、十指、十頭

6. 次の(1)の例の「なんか」は各々どのような形式的・意味的特徴を持ち、どのように異なるだろうか。言語学的な知見に基づいて、具体的に説明しなさい。
- (1) a. 喉乾いてない？ お茶なんかどう？  
b. なんか最近授業が面白くなってきた。  
c. 冷蔵庫になんか冷たいもの、あったっけ？

7. 次の英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、朝鮮語のいずれか1つを選んで、**解答用紙の「言語の種類」欄に言語名を記載した上で**、設問に答えなさい。ただし、外国人留学生等、日本語を第1言語としない者は、日本語を選択すること。

(1) 英語

以下の文章の意味内容を日本語で表しなさい。

【この問題はホームページ上では公開しない】

(2) ドイツ語

以下の文章の意味内容を日本語で表しなさい。

【この問題はホームページ上では公開しない】

(3) フランス語

以下の文章の意味内容を日本語で表しなさい。

【この問題はホームページ上では公開しない】

(4) ロシア語

以下の文章の意味内容を日本語で表しなさい。

【この問題はホームページ上では公開しない】

(5) 中国語

以下の文章の意味内容を日本語で表しなさい。

【この問題はホームページ上では公開しない】

(6) 朝鮮語

以下の文章の意味内容を日本語で表しなさい。

【この問題はホームページ上では公開しない】

(7) 日本語 (外国人留学生等、日本語を第1言語としない者のみ選択可)

次の文章を読んで、後の問1、問2、問3に答えなさい。

【この問題はホームページ上では公開しない】